

## 2017年春セメスター

# FIRSTプログラム【韓国】 (Freshman Intercultural Relations Study Trip) Program

### 1. 科目概要と授業の特色について

「FIRST(Freshman Intercultural Relations Study Trip)プログラム」は1回生向けの海外学習入門プログラムです。2007年度より開始し、韓国・台湾・香港・日本にて実施し、これまでに1,000名以上の学生が様々な体験をしてきました。

「FIRST」プログラムの最大の特徴は、学外実習で取り組む「異文化オリエンテーリング」で、少人数のグループごとに自分たちの力で目的地を目指し、現地でアンケート調査などのリサーチ活動を行います。先輩学生の※TA( Teaching Assistant)が同行しますが、実習中は受講生のリードで行程を進みます。世界の言語、文化やその地域の人々との交流に興味を持ち、APUの国際的な学習環境やキャンパスライフを最大限に活用したいと考える学生に最適のプログラムです。交換留学などの海外プログラム参加を目指す学生にもおすすめです。

尚、多文化多言語環境の更なる活用能力向上を促進するために、FIRST参加者に対しSECONDプログラムへの参加を推奨しています。SECONDプログラムへの参加は必須ではありませんが、より高いレベル向上を希望される方は、SECONDプログラムの募集要項も合わせてご確認ください。

#### ※TA( Teaching Assistant):

TAは、全プログラム期間を通じて受講生のサポートを行いません。事前授業では、言語・文化学習のサポートを行い、現地実習ではプログラムの安全な実施と、受講生が異文化学習に取り組むためのサポートを行います。

### 2. プログラムの詳細について

2017年春セメスターのFIRSTプログラムは以下の内容で実施されます。

科目名	「異文化フィールドワーク I JA/JB」(共通教養科目)
担当教員	近藤祐一教授 / 立山博邦准教授
実施形態	事前・事後講義および海外実習(韓国フィールドリサーチ)
実習期間	2017年6月1日(木)~6月4日(日)(クォーターブレイク=授業なし期間含む4日間)
履修登録	2017年度春セメスター科目として登録(大学が自動登録)
単 位	2単位(2017年春セメスターの単位登録上限に含みません。)
成 績	「P(合格)」または「F(不合格)」
使用言語	日本語・韓国語(現地で必要な文化や言語の知識を事前に学習します。)
派遣人数	150名程度(最少実施予定人数100名) 最少実施人数に満たない場合はプログラム実施を中止することがあります。

### 3. プログラムへの申請と選考について

申請書類に不備がある場合は、選考対象となりませんので注意してください。

申請資格	学部1回生(1セメスター・2セメスターの学部生) 本プログラムの主な対象者は国内学生ですが、日本語基準または、日本語中上級終了の国際学生も申請可能です。(日本語で授業を受けることができる学生対象) 国際学生については、韓国への入国ビザの手続きを実習までに各自で行うことが条件です。 *再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認して下さい。
申請方法	オンライン申請(Lime Survey)もしくは申請用紙のどちらでも申請可能です。 申請用紙はアカデミック・オフィス(B棟1階)内の申請書提出BOX1に投函してください。
申請期間	2017年4月1日(土)~4月14日(金) 16:30 締切、用紙での申請は4/3(月)開始
選考方法	志望理由書を重視した書類審査により選考を行います。必要に応じて面接を行う場合があります。面接を無断で欠席した場合、参加意思が無いものと見なします。
合格発表	2017年4月18日(火)17:00以降にキャンパスターミナル上の【あなた宛の重要なお知らせ】にて通知

#### 4. プログラム費について

プログラムに要する費用は 70,000 円です。選考の結果、FIRST プログラムに参加が決定した場合、2017年5月9日(火)までにプログラム費を振り込んでください。振り込み方法は合格発表時にお知らせします。なお、プログラムに要する費用の内訳は以下のとおりです。

プログラム費に含まれるもの	プログラム費に含まれないもの (自己負担するもの)
往復貸切バス代(別府/大分⇄博多港)	集合/解散場所と自宅間の交通費
往復乗船券(福岡⇄プサン)	実習中の韓国現地交通費
海外旅行保険料	実習中の宿泊費 3泊分
危機管理サポートサービス料	実習中の食費・個人的な買い物等
テキスト代	リサーチ活動に関わる備品、コピー代等

#### 5. プログラムに関わるスケジュール

学習内容の詳細は「異文化フィールドワークⅠ」のシラバスを参照してください。

授業/実習	予定日時	内容
受講生 ガイダンス	4月26日(水)5限	参加者ガイダンス、TA 紹介
事前授業 実習	1	4月26日(水)6限 授業オリエンテーション、リサーチ手法の理解
	2・3	5月3日(水)5・6限 派遣国の概観・言語の理解 リサーチトピックの設定
	4・5	5月10日(水)5・6限 派遣国言語の理解
	6・7	5月17日(水)5・6限 リサーチトピックの設定 リサーチの準備
事後授業 実習	1日目	6月1日(木) 出国 - 到着 フィールドリサーチ
	2日目	6月2日(金) フィールドリサーチ/振り返りミーティング
	3日目	6月3日(土)
	4日目	6月4日(日) 帰国
事後授業	1・2	6月7日(水)5・6限 振り返りディスカッション
	3・4	6月21日(水)5・6限 プレゼンテーション

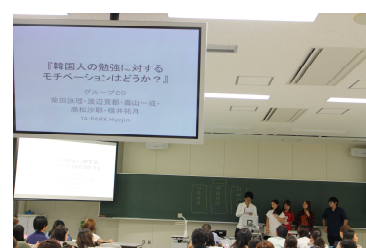
◇事前・事後授業の教室は、合格発表時にお知らせします。



<事前授業>



<実習風景>



<事後授業/プレゼンテーション>

## 6. 留意事項

- (1) 海外での実習は、貴重な経験となると同時に、時には困難やストレスを伴うことが予想されます。現地においては、日本の“常識”が通用しないことがあります。異なる文化であることを受け入れる努力をし、責任ある行動を心掛けてください。プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、受講生自身の姿勢や努力が大きく作用します。
- (2) 事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。書類や課題などの提出期限は必ず守ってください。
- (3) 健康面に関して、**受講生は定期健康診断を受診していることが必要です**。受診していない方は必ずヘルスクリニックに相談してください。また健康上の不安がある場合は、必ずヘルスクリニック医師に相談してください。
- (4) パスポート未取得者は、速やかに取得の手続きをしてください。**第1回目の事前授業までにパスポート取得が間に合わなかった場合は、プログラム参加決定を取り消すことがあります。その際にかかるキャンセル料は、受講生の負担となりますので、注意してください**。負担するキャンセル料と成績については(7)の通りです。また、**パスポートの残存有効期間が、渡航国ごとに定められた期間に満たない場合は、入国できません**。各自確認のうえ、早めに更新手続きを行ってください。
- (5) 国際学生についてはビザ取得が必要な場合がありますので、各自が事前にビザの要・不要を確認してください。ビザ取得は受講生個人が責任もって行なうものとし、所定の期日までに取得できない場合は、参加を取り消します。その際にかかるキャンセル料は、受講生の負担となりますので、注意してください。負担するキャンセル料と成績については(6)の通りです。また、再入国許可証も忘れずに取得しておいてください。
- (6) **本プログラムは、正課科目です。原則、参加決定後のキャンセルはできません**。参加許可後、やむを得ない理由でプログラムへの参加継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、本プログラムの成績は「F(不合格)」として付与されます。また、参加許可直後から旅費などの費用が発生するため、参加許可後からキャンセルの申し出までに発生した旅費やテキスト代、保険料などの諸費用をキャンセル料として徴収します。すでにプログラム費を納入されている場合は、キャンセルの申し出までに発生した費用を差し引いた金額を返金します。**事前授業に無断欠席や遅刻が続いた場合は、本人との面談後、参加資格を取り消される場合があります。その場合も同様に本プログラムの成績は「F」とし、キャンセル料の徴収を行います**。
- (7) **プログラムの中止や内容の変更**  
受講生の健康や安全を第一優先するため、実習で天災・災害・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他、諸事情によりプログラムの中止や内容の変更を行なう場合があります。また、引率教員や職員の判断に基づき、受講生のプログラム参加許可が取り消されたりする場合もあります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行なって下さい。
- (8) **個人情報の取扱いについて**  
申請書類に記入された個人情報は、派遣の選考、本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため個人が特定されない学内統計資料の作成目的にのみ使用されます。また、派遣に関わる調整・手続き、渡航手続き、保険手続きを進める上で必要な情報についてのみ旅行代理店および保険会社、大使館、領事館、外務省等に対して提供されます。

## 7. SECOND プログラムへのお誘い

SECOND プログラムとは、FIRST プログラムで学んだ多文化理解をさらに深めてより専門的に実践するプログラムです。SECOND プログラムの授業は日英両言語で行われ、実習では東南アジア諸国を2週間かけて調査研究する中で、英語力、それぞれの国の人々との意思疎通などのコミュニケーション能力、専門科目に繋げることの出来る高いレベルの調査研究スキルを養います。興味のある方はSECONDプログラムの募集要項を確認ください。

※ 今回 FIRST プログラムの申請書には SECOND プログラムを同時に申請することが出来る欄を設けています。両プログラムの参加を希望する方は FIRST の申請書に記載いただければ、1回で両プログラムの申請が完了します。

### 【FIRST/SECOND の特徴】

	FIRST(韓国)	SECOND
プログラムの目的	・異文化体験 ・異文化理解 ・現地の人々との交流	・東南アジアにまたがる多様な宗教文化の理解 ・フィールドにおける越境的な文化の理解 ・訪問国の政治・社会・経済システムの総合的な理解 ・グループ作業を通じた、日英両言語でのコミュニケーション深化
実習時期	・春クォーターブレイク(6月1日～6月4日)	・夏期休暇中(7月30日～8月11日)
お勧めしたい学生	・海外での学習経験がない(少ない) ・多文化適応の基礎能力を実践的に身につけたい ・言語の壁を越えたコミュニケーション能力を身につけたい ・韓国に興味を持っている	・海外で大学レベルの学習に挑戦したい学生 ・専門科目に繋がる、調査・研究の基礎能力を身につけたい ・在学中に反対言語を上級レベルまで高めたい学生 ・東南アジアに興味を持っている
グループワークの形態	・おもに日本語基準学生 ・1グループ4～6名	・日本語基準学生と英語基準学生合同グループ ・1グループ4名～6名
開講言語	・日本語	・日本語および英語
実習先	・韓国	・東南アジア

問い合わせ先: アカデミック・オフィス  
河野・大久保・小名川・馬場

TEL: 0977-78-1101 / Email: [first@apu.ac.jp](mailto:first@apu.ac.jp)

MEMO